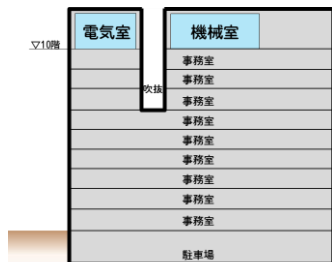


減災 —地域の防災拠点の整備

和歌山地方合同庁舎の事例

耐震安全性の確保はもちろん、非常用発電機や備蓄倉庫を備え、1階の床レベルを上げるとともに重要設備を上階に設置しています。これにより、大地震時や紀ノ川氾濫時にも施設利用者の安全を確保し、機能維持できる計画となっています。

▶被災時にも機能できるように設備室を上階に設置

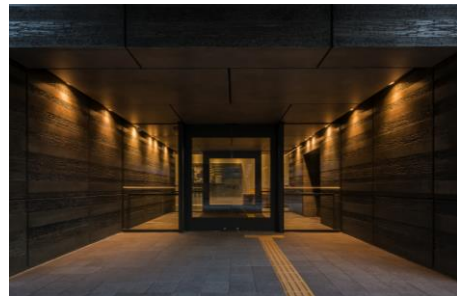
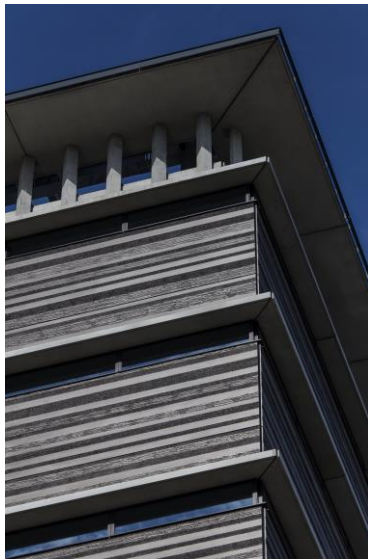


まちの防災拠点として

防災拠点としての耐震安全性を確保する耐震ブレース付きラーメン構造となっているほか、各出入口に防潮板を設置し、地震にも河川氾濫にも強い庁舎となっています。



▲防潮板を使用した様子



- ▲正面玄関
- ◀ 超高压水で削り出した外壁
- ▼ 和歌山城に面した正面外観

この建物について

和歌山城を中心とした官公庁エリアの一角に、迅速かつ効率のよい行政サービスを提供するための合同庁舎を整備しています。外装は耐久性とメンテナンスフリーの観点から、プレキャストコンクリート版で構成し、超高压水により表面を削り出し、汎用的な外装材料でありながら奥行きを感じさせる表情豊かな外装を実現しています。



| | |
|-------|--------------------|
| 所在地 | 和歌山県和歌山市二番丁3 |
| 敷地面積 | 6,499㎡ |
| 建築面積 | 2,282㎡ |
| 延べ床面積 | 21,673㎡ |
| 構造 | 鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造) |
| 階数 | 10階建(地下1階) |